

授業科目名 (ナンバリングコード)	スポーツ法・倫理特講	授業形態	講義	授業科目区分	基礎科目 (スポーツ文化・社会科学)
担当教員名	森 克己			補助担当者名	
単位数	2 単位	履修年次	1年次	受け入れ人数	5名程度
授業の概要 及び達成目標	スポーツ法学及びスポーツ倫理に関する研究の意義と課題を概観するとともに、スポーツ法学及びスポーツ倫理に関する国内外の重要文献・資料を購読することにより、スポーツ選手の人権問題などスポーツの分野における法学及びスポーツ倫理に関する研究の重要課題についての知識・考え方を修得する。				
成績評価の方法	□学期末試験の成績 (%) ■授業への取り組み状況 (20%) ■レポート等の提出状況 (80%) を総合的に評価する。				
成績評価の基準	毎回の授業時に課されるレポートへの取り組み状況、授業への取組状況を総合的に評価する。				
テキスト、教材 参 考 書	テキスト：森克己ほか著『標準テキスト・スポーツ法学』（エイデル研究所） 参考書：小笠原正・諏訪伸夫監修、森克己ほか著『スポーツのリスクマネジメント』（ぎょうせい）『憲法と教育人権』（日本評論社）、『スポーツ法学入門』（体育施設出版）				
履修条件・ 関連科目	特になし	備考(教員メッ セージ含む)			
オフィス・アワー	随時 (508研究室)				
授業計画					
回	担当教員名	授業内容		授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)	
1	森 克己	オリエンテーション：学習の目的、内容、方法、評価のしかた		履修要項の予習 (30分以上)	
2	〃	スポーツ法学及びスポーツの倫理に関する研究の意義 (総論)		テキスト・参考書の予習・復習 (30分以上)	
3	〃	スポーツ法学の体系・法源①		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
4	〃	スポーツ法学の体系・法源②		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
5	〃	スポーツ基本法の概要		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
6	〃	スポーツの権利性		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
7	〃	スポーツ団体と競技者の法的諸問題 (総論)		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
8	〃	スポーツ選手の人権問題とスポーツ仲裁制度		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
9	〃	スポーツにおけるチャイルド・プロテクション①		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
10	〃	スポーツにおけるチャイルド・プロテクション②		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
11	〃	スポーツにおけるアスリート保護の国際的取組の現状と課題①		参考書・資料等の予習・復習 (30分以上)	
12	〃	スポーツにおけるアスリート保護の国際的取組の現状と課題②		資料等の予習・復習 (30分以上)	
13	〃	ドーピング問題の現状と課題		資料等の予習・復習 (30分以上)	
14	〃	スポーツ選手の肖像権・パブリシティ権保障の現状と課題①		資料等の予習・復習 (30分以上)	
15	〃	スポーツ選手の肖像権・パブリシティ権保障の現状と課題②		資料等の予習・復習 (30分以上)	